

# 令和7年度 公共事業再評価調書

## 1. 事業説明シート

(区分) (国補) ・ 県単

事業名	農地整備事業 [畑地帯総合整備事業(国補)]		事業箇所	中央市木原、関原	地区名	豊富南部	事業主体	山梨県																							
計画期間	当初計画	現計画	④特記事項(関連事業概要等) なし																												
	H29~R4	H29~R7	⑤これまでの評価状況(平成28年度事前評価) なし																												
総事業費	700 百万円	700 百万円	1,090 百万円																												
<b>(1) 事業の概要</b>																															
<p>①事業目的及び効果</p> <p>本地域は、全国でも有数の養蚕の村として知られていたが、繭価の低迷による養蚕離れから、他作物への転換が急速に進み、近年ではモモを中心とした果樹やスイートコーンなどの野菜が、特産物として定着しつつある。</p> <p>一方、本地区は小区画・不整形など、営農環境の悪い農地が点在し、農地の背後は山林があることから獣害も深刻化してきている。</p> <p>このため、区画整理による担い手への農地集積・集約化を進めるとともに用排水路や農道、鳥獣害防止施設の整備を総合的に行うことにより、生産性の向上と農業経営の安定化により、地域農業の維持向上を図ることを目的として事業を実施している。</p> <p>□主要目標 ○農業生産力の向上 ・農業所得増加額 2,406千円/ha<math>\geq</math>810千円/ha※(※評価基準値)</p> <p>□副次目標 ○農業用排水能力の向上 ○鳥獣被害の軽減</p> <p>□副次効果 ○遊休農地の解消 ○果樹園景観の保全</p>																															
<p>②事業概要</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>現計画</td> <td>→</td> <td>変更計画</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>L=1,900m</td> <td>→</td> <td>L=2,557m</td> </tr> <tr> <td>農道</td> <td>L=670m</td> <td>→</td> <td>L=540m</td> </tr> <tr> <td>区画整理</td> <td>A=15.8ha</td> <td>→</td> <td>A=8.5ha</td> </tr> <tr> <td>鳥獣害防止施設</td> <td>L=4,400m</td> <td>→</td> <td>L=4,366m</td> </tr> </table>										現計画	→	変更計画	用排水路	L=1,900m	→	L=2,557m	農道	L=670m	→	L=540m	区画整理	A=15.8ha	→	A=8.5ha	鳥獣害防止施設	L=4,400m	→	L=4,366m			
	現計画	→	変更計画																												
用排水路	L=1,900m	→	L=2,557m																												
農道	L=670m	→	L=540m																												
区画整理	A=15.8ha	→	A=8.5ha																												
鳥獣害防止施設	L=4,400m	→	L=4,366m																												
<p>③全体計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和6年度まで</th> <th>令和7年度 (評価実施年度)</th> <th>令和8年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現計画</td> <td>工事内容</td> <td>用排水路 L=1,900m 農道 L=670m 区画整理 A=15.8ha 鳥獣害防止施設 L=4,400m</td> <td>区画整理 畑かん移設補償 N=1式 換地業務 N=1式</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>835 百万円</td> <td>20 百万円</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">変更計画</td> <td>工事内容</td> <td>用排水路 L=1,807m 農道 L=0m 区画整理 A=8.5ha 鳥獣害防止施設 L=4,366m</td> <td>区画整理 測量試験費 N=1式 畑かん移設補償 N=1式 換地業務 N=1式</td> <td>用排水路 L=750m 農道 L=540m</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>835 百万円</td> <td>20 百万円</td> <td>235 百万円</td> </tr> </tbody> </table>											令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降	現計画	工事内容	用排水路 L=1,900m 農道 L=670m 区画整理 A=15.8ha 鳥獣害防止施設 L=4,400m	区画整理 畑かん移設補償 N=1式 換地業務 N=1式	—	事業費	835 百万円	20 百万円	—	変更計画	工事内容	用排水路 L=1,807m 農道 L=0m 区画整理 A=8.5ha 鳥獣害防止施設 L=4,366m	区画整理 測量試験費 N=1式 畑かん移設補償 N=1式 換地業務 N=1式	用排水路 L=750m 農道 L=540m	事業費	835 百万円	20 百万円	235 百万円
		令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降																											
現計画	工事内容	用排水路 L=1,900m 農道 L=670m 区画整理 A=15.8ha 鳥獣害防止施設 L=4,400m	区画整理 畑かん移設補償 N=1式 換地業務 N=1式	—																											
	事業費	835 百万円	20 百万円	—																											
変更計画	工事内容	用排水路 L=1,807m 農道 L=0m 区画整理 A=8.5ha 鳥獣害防止施設 L=4,366m	区画整理 測量試験費 N=1式 畑かん移設補償 N=1式 換地業務 N=1式	用排水路 L=750m 農道 L=540m																											
	事業費	835 百万円	20 百万円	235 百万円																											
<p>④特記事項(関連事業概要等) なし</p> <p>⑤これまでの評価状況(平成28年度事前評価) なし</p>																															
<p>(2) 事業位置図等</p>																															

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

## 2.評価シート（1）

### （1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

#### ①地域・住民の意向状況

- ・用排水路、農道等の新規路線については、各路線とも施設の老朽化が著しく、早期整備が求められている。
- ・区画整理については、計画されている基盤整備の必要性は十分理解しつつも、合意形成に日数を要しているため、本事業での実施は難しいとの意向も多い状況である。

#### ②産業・経済情勢

- ・労務費・建設資材費の上昇

#### ③国等の方針

- ・なし

#### ④上位計画・関連事業計画等

- ・やまなし農業基本計画（令和6年1月策定）

#### ⑤自然環境条件等

- ・なし

#### ⑥その他

- ・なし

### （2）評価時点の費用対効果分析

項 目		着手時点	変更計画時点	
総事業費		700 百万円	1,090 百万円	
工 期		H29～R4	H29～R9	
経済 効 率 性	評価基準年	H29	R7	
	費用	788 百万円	1,367 百万円	
		建設費	788 百万円	1,367 百万円
	便益	1,371 百万円	2,001 百万円	
		作物生産効果	791 百万円	1,169 百万円
		品質向上効果	45 百万円	34 百万円
		営農経費節減効果	440 百万円	581 百万円
その他※	95 百万円	217 百万円		
B/C		1.7	1.5	

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、維持管理費節減効果、営農に係る走行経費節減効果、耕作放棄防止効果、国産農産物安定供給効果

### （3）これまでの計画変更等の概要

- ・区画整理において、換地計画の合意形成に日数を要したため、計画期間を令和7年度まで延期した。

（計画期間） 3年延長

## 2.評価シート(2)

### (4) 事業進捗状況及び見込み

#### ①進捗率

別表のとおり。

R7年度進捗率(現計画)100%→(実績)99.8%→(変更計画)78.4%

#### ②進捗率実績が計画と相違している理由

区画整理において、換地計画の検討や地権者との調整に日数を要したことによる。

#### ③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
用排水路	95 百万円 増	近年の豪雨により、農作物への浸水被害が発生し整備の緊急性が高まった路線の追加による事業費及び事業量の増。
農道	150 百万円 増	幅員が狭く、舗装が老朽化しているため、果樹の荷痛みが特にひどい路線を追加したことによる事業費及び事業量の増
	30 百万円 減	一部路線について他事業で整備したことによる事業費及び事業量の減。
区画整理	200 百万円 増	担い手農業者の参入による農地の大区画化に伴う、切盛土量の見直しによる事業費の増。
	75 百万円 減	新たな担い手農業者の参入を踏まえた営農計画を検討する工区について、現計画から除外したことによる事業費及び事業量の減。
鳥獣害防止施設	50 百万円 増	鋼材の価格高騰など物価高騰の影響による事業費の増。
合計	390 百万円 増	

#### ④事業期間の変更理由及び進捗予定

残路線の一部箇所が難航していた合意形成が概ね完了し、関係者との調整が整ったことから、計画的かつ効率的な実施に努め、令和9年度の完了を予定している。

#### ⑤今後の事業執行における留意点

なし

#### (5) 環境負荷等への配慮

なし

#### (6) コスト縮減の可能性

なし

#### (7) 代替案立案の可能性

なし

#### (8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他( )

(理由)

果樹やスイートコーン生産の強化を図り、農業経営の安定化を実現するのに不可欠な基盤整備であることから、事業を継続し、令和9年度の完了を予定している。

また、今回実施を見合わせる路線については、引き続き地域や関係機関と調整していく。

#### ○別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100

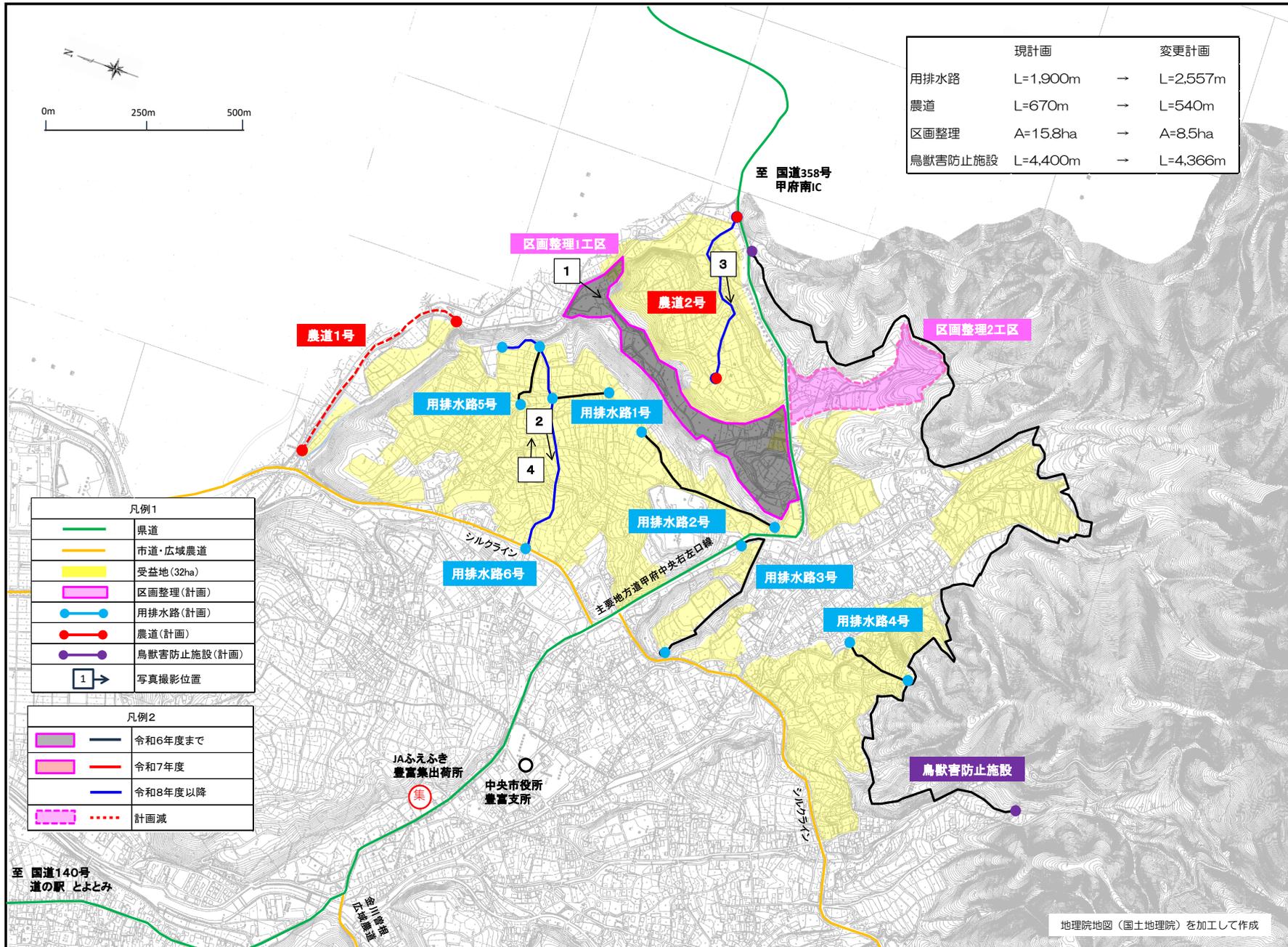
単位：%

	年度	*H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	*R7	R8	R9
	現	計画	4.6	18.7	49.3	59.6	77.4	88.0	94.7	97.5	100	
実績		4.6	18.7	49.3	59.6	77.4	88.0	94.7	97.5	99.8		
変更計画										78.4	89.5	100

\*事業着手年度又は評価年度

\*R7年度の実績は見込み

### 3. 添付資料シート (1)



### 3.添付資料シート (2)

#### 1【区画整理】

整備前

整備後



凡例	
区画整理エリア	
耕作放棄地範囲	

整備面積：A=8.5ha  
 筆数：217筆⇒61筆  
 農地平均面積：A=368m<sup>2</sup>⇒1086m<sup>2</sup>  
 担い手農業者への集積面積 A=5.9ha  
 耕作放棄地解消面積 A=6.8ha  
 営農状況：担い手農業者（農業法人）が一体的に農地を借り受け、もも、スイートコーンなどを栽培する計画。

凡例	
区画整理エリア	
企業参入範囲	



鳥獣被害



- 所有者の土地が分散していることや小区画・不整形かつ、農道に接していない農地もあったため、農作業機械が乗り入れ出来ないなど、営農に支障をきたしていた。
- また、イノシシなどの鳥獣被害の発生により営農意欲の低下が加速し、耕作放棄地が増加していた。

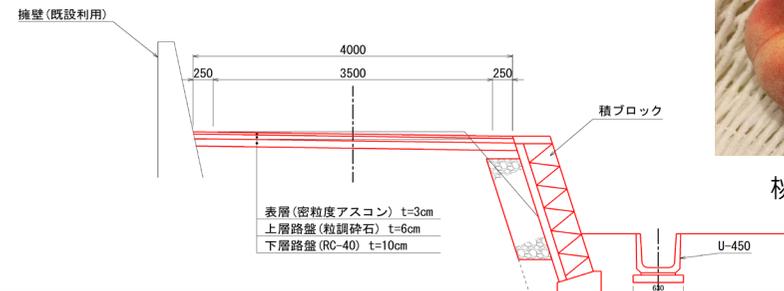
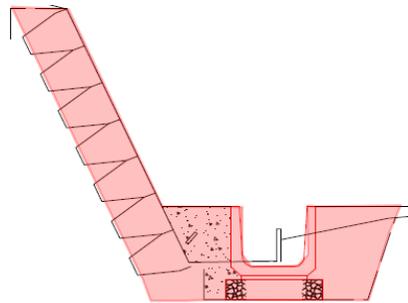
- 担い手農業者の参入による農地の大区画化に伴い、切盛土量の見直しにより事業費が増となった。
- 区画整理により農地の集約化が図られ、営農条件も改善されたことから担い手農業者への農地集積が可能となった。また、鳥獣害防止施設の整備により、計画的で安定的な営農が可能となった。

### 3.添付資料シート(4)

2【用排水路】



3【農道】



桃の荷痛み

- 傾斜地での用排水路整備に伴い、土留め擁壁などの構造物の増により、事業費が増となった。
- また近年の豪雨により既存の水路では排水を処理できず、整備の緊急性が高まっている路線について、本事業に追加する。

- 傾斜地での農道整備に伴い、土留め擁壁、路側擁壁などの構造物の増により、事業費が増となった。
- 既存の農道は幅員が狭く車両のすれ違いが困難であり、通作等に支障をきたしている。また、舗装が劣化しており、出荷時に農作物の荷痛みの原因となっているため、整備が必要である。

### 3.添付資料シート (3)

#### 4【区域内の営農状況】

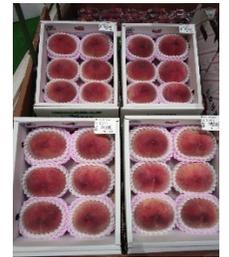
桃 (日川白鳳)



とうもろこし (ゴールドラッシュ)



・以前は、鳥獣被害防止のために自作の簡易な柵を設置していたが、現在は施設の設置により獣害が減少し、耕作者の営農意欲の維持に繋がっている。



・「道の駅 とよとみ」には、地区内で収穫された果物や季節毎の野菜等が並び、休日は新鮮な農作物を求める県内外からの多くの来訪者で賑わう。特に人気のあるスイートコーン (ゴールドラッシュ) の出荷シーズンは大盛況となる。

#### 4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H29	39,215	測量設計業務一式	3.6
H30	121,000	用排水路L=936m、測量設計業務一式	14.7
R1	261,569	用排水路L=197m、区画整理A= 3.6ha、鳥獣害防止施設 L=3,839m、測量設計業務一式	38.7
R2	88,000	区画整理A= 1.7ha、鳥獣害防止施設 L=527m、測量設計業務一式	46.8
R3	152,900	用排水路L=674m、区画整理A= 2.4ha、測量設計業務一式	60.8
R4	90,750	区画整理付帯工一式、測量設計業務一式	69.1
R5	57,200	区画整理付帯工一式、測量設計業務一式	74.4
R6	24,200	区画整理A= 0.8ha、測量設計業務一式	76.6
R7	19,800	測量設計業務一式、畑かん移設補償一式、換地業務一式	78.4
R8	121,000	測量設計業務一式、用排水路L=200m、農道L=340m	89.5
R9	114,366	用排水路L=550m、農道L=200m	100.0
合計	1,090,000		